

アルコールが身体に及ぼす麻痺作用は誰でもわかっているのに、飲酒運転が後を絶たないのはなぜ？「酒に強い」「乾杯の二杯くらい」など、自信過剰や勘違いで深みにはまるケースが多く

あります。

アルコールは

「少量でも」脳の機能を麻痺させます！この現実を再認識してください。飲酒すると、安全運転に必要な情報処理能力、注意力、判断力などが低下します。その結果、速

飲酒運転はなぜ危険

度超過などの危険な運転をし、車間距離の判断を誤り、ブレーキペダルを踏むまでの時間が長くなるなどの事態を招きます。

また、酒に強いと言われる人であっても低濃度のアルコールで運転操作等に影響が見られることが、各種調査研究により明らかになっています。

「飲んだら乗るな、飲むなら乗るな」を厳守しましょう。



交通安全三原則